

1. 事業の計画に関する項目

定款第 5 条に記載された各事業について、2022 年 3 月までに、以下の通り実施した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

表 事業一覧

事業名 (定款第 5 条)	プロジェクト名		事業概要
① 景観まちづくりについて 市民への情報・交流・啓発事業	情報の提供		市民が主体となって景観まちづくりを進めていくために役に立つ情報を提供した。【別添】
	景観についての意識の啓発に関する事業	地域サポート活動	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行った。(活動地域：鴨川景観、嵐山、深草、三条通、祇園新橋、藤城、笹屋町一丁目) 【別添】
		シンポジウム	通常総会に合わせて年に 1 回活動報告会を実施する。また、必要に応じてテーマ型シンポジウムを、都度開催する。(コロナ禍対応のため実施なし)
② 地域景観資源の調査・研究	良好な景観の形成に関する調査研究		「景観まちづくり」のベースとなる地域特有の歴史的・文化的な意義を、文献や聞き取りによって、明らかにする調査や研究を行った。【別添】
③ 景観まちづくりに関する教育事業	地域の景観まちづくりを支援する専門家の育成		地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するために、専門的な知識を有する適切な人材を育成する、京都景観エリアマネジメント講座を実施した。【別添】
④ 地域の景観まちづくりの支援(相談・アドバイス・人材の派遣)	受託事業		地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するため、行政や民間からの業務受託や、専門的な知識を有する適切な人材の派遣をした。【別添】
	地域ネットワーク活動支援事業		地域が地域情報の共有や発信を行う取組を支援する事業として、地域ホームページ運営支援事業を進めた。また、地域景観づくり協議会をはじめとして、景観まちづくりに取り組む地域間のネットワーク形成や交流事業を支援した。【別添】
	相談業務		地域で抱える「景観まちづくり」についての課題や疑問について、さまざまな分野の専門家(京都景観エリアマネージャー)がネットワークを組んで、相談に応じた。【別添】
⑤ 景観まちづくりへの提言	景観形成に寄与する企画・計画・提案・協働	公共景観要素デザイン	まちなかの景観に大きな影響を与えるサインなどの公共的なデザインアイテム(公共景観構成要素)についての研究・提案。(実施無し)
		屋外広告物	まちなかの景観に大きな影響を与える屋外広告物についての研究・提案。(実施無し)
		みどり景観	まちなかの景観に大きな影響を与える植栽や街路樹、緑地についての研究・提案。(実施無し)
⑥ 景観まちづくり推進のための体制づくり	景観まちづくりを支援する専門家のネットワークづくり		エリアマネの専門性を高めるための活動を行った。併せてエリアマネとしての人材の共有、協働のネットワークづくりの礎とした。【別添】
	多様な主体とのネットワークづくり		景観まちづくりを支援する多様な主体のネットワークを広げた。【別添】
⑦ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			

2. 団体の運営

2022 年 3 月までに、適切な団体運営をした。【別添】

事業名	年度	2021 年度				
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ① 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、情報の提供				
	プロジェクト名	広報チーム				
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくために役に立つ情報を提供する。				
	概要	一般市民に向け、景観まちづくりに取り組んでいくための情報を発信する。 また、景観フォーラムの活動内容について情報発信を行い、団体の認知を広めるとともに、エリマネ講座等の集客に向けた企画を検討し、実行する。 広報活動を行うために必要なマーケティングや、技術の取得につとめる。				
	活動	年間活動日は以下の通りである。				
			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
			広報チーム会議	月 2 回 12 月から月 1 回	事務所	6
		WEB 記事更新、WEB ページ更新、 Facebook、メーリングリスト	適宜		4	
		アニュアル・レポート作成	4 月		3	
		エリマネ動画制作	適宜		1	
	エリマネ講座 リーフレット制作	適宜		1		
成果	WEB 記事の更新によって定期的な情報発信を行うとともに、これまでに利用してきた Facebook やメーリングリストも活用して活動の周知向上を行った。 ホームページは、構成を再検討しているところである。 アニュアルレポートも広報チームが中心となって作成した。					

写真等



アニュアルレポート 2020

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ② 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動			
	プロジェクト名	鴨川景観プロジェクト			
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。			
	概要	京都市の中心部を流れる鴨川の景観を通して、自然と暮らしが調和した景観特性を学ぶフィールドワークを実施し、関係者のネットワーク構築を行う。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
成果	コロナ禍により、活動実施できなかった。				
写真等					

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ③ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動			
	プロジェクト名	嵐山プロジェクト			
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。			
	概要	嵐山のまちづくりにおける地域景観づくり協議会の運営支援及び景観に関するルールづくり等の取り組みの支援を行う。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
		定例役員会	月 1 回	嵐山	2 名
事務局会議	月 1 回程度	嵐山	2 名		
成果	<p>地域景観づくり協議会の意見交換の制度運用の支援を行った。協議会事務局として、フォーラムからエリマネ 1 名を派遣して支援している。民主的な協議会運営の点で課題が生じている。協議会会員への情報共有、意思決定の仕組みを見直す点について、提案をする予定である。</p> <p>2020 年度に対応した大堰川沿いの街灯の件から派生して、亀山公園及びその周辺の街灯や今後の活用方向について、京都府との協議を進めようと働きかけている。</p> <p>また、屋外広告物について、一部でルールが守られていない現状や、現在のルールでは地域の魅力向上につながっていない面があることから、屋外広告物に関する嵐山独自のルールを検討すべく、勉強会を開催予定である。</p> <p>ホームページの改訂作業を進めている。</p> <p>2021 年度で、森川の専門家派遣の制度利用の期限が終了するため、2022 年度以降の支援のあり方も検討中である。</p>				
写真等					

事業名	年度	2021 年度				
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ④ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動				
	プロジェクト名	深草プロジェクト				
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。				
	概要	<p>鴨川運河会議の自立的運営を支援する。講演会・シンポジウム、交流会、ツアー等の開催、景観資源のアーカイブ化及び保全・活用に関する関係行政部署との協議等について調整・サポートを行う。</p> <p>高松橋ひろばの活用推進に関し、市民団体である高松橋ひろばづくりの会の自立的運営を支援し、主体的に活動できるよう、関係行政部署との調整を行う。</p>				
	活動	年間活動日は以下の通りである。				
			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数
			【鴨川運河会議】			
			鴨川運河ウォーキング①	7 月 3 日	現地	1
			伏水街道一之橋 拓本採取	8 月 7 日	現地	1
			出雲橋親柱及び銘板設置	8 月 22 日	現地	1
			イベント「高松橋ひろばで遊ぼう」	11 月 28 日	高松橋ひろば	2
			講演会「淀川流域における近代舟運の盛衰」	12 月 5 日	歴彩館	2
			講演会「琵琶湖疏水鴨川運河の魅力」	12 月 12 日	伏見区役所	1
			一の橋 3D スキャンによるアーカイブ化	3 月 9 日	現地	1
			冊子「鴨川運河 100 の視点改訂版」編集・作成	随時	まちセン オンライン	1
			定例会議	月一回	各所	3
		【高松橋ひろばづくりの会】				
	ひろば草引き整備活動	8 月 8 日	高松橋ひろば	1		
	イベント「いちに、いちに、ひろばで遊ば」	12 月 12 日	高松橋ひろば	1		
	定例会議	不定期計 4 回	白鳥会館ほか			

成果

2021年度の鴨川運河会議は、冊子「100の視点(改訂版)」の作成をはじめ、講演会、ツアーほか景観を軸とした多様な活動を、助成金の活用、行政及び他団体との連携をしながら、取組んだ。新型コロナウイルス感染の広がりにより、開催の延期や内容の変更等を余儀なくされた面もあるが、新しいメンバーも交えながらほぼ当初計画通りの実施支援を行った。土木学会関西支部から地域活動賞を受賞した。

高松橋ひろばづくりの会も、2021年度ひろばの本格活用スタート予定だったものの、新型コロナウイルスの影響を受けた。しかし年度後半には、鴨川運河会議のイベントへの協力、および若いメンバー発題の親子イベントの実施等が実現した。ここでは子育て世代の母親ネットワークが企画運営の中心を担い、個々の活動分野を横断した連携が生まれた。

両団体とも、伏見区誕生90周年記念表彰にて、伏見ならではの「地域力」「人間力」を象徴する団体として表彰された。



■鴨川運河会議：出雲橋親柱設置記事



高松橋ひろばでのキッズダンス



講演会受付ロビーにて長尺マップの説明



一之橋の3Dスキャン

写真等



■ひろばづくりの会：12/12のイベント



紙芝居の読み聞かせ



クローバーの種まき

事業名	年度	2021 年度				
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ⑤ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動				
	プロジェクト名	三条通プロジェクト				
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。				
	概要	<p>三条通の界わい景観整備地域を対象としている「京の三条まちづくり協議会」の景観まちづくりに関して、地域景観づくり協議会の指定による意見交換会などの運用や、無電柱化実現のための活動のサポート、三条通に相応しい屋外広告物の提案などしていく。また、文化博物館を核として、京都市内に存在する近代建築のネットワーク化へ向けての活動を支援する。</p> <p>2021 年度は、京都歴史文化施設クラスター実行委員会（文化庁）からの活動費に加え、国交省の「官民連携まちなか再生推進事業」補助金の交付も受け、みちの在り方についてのビジョンづくりへむけて、ヒアリングやWS、まちカフェ、まちづくり社会実験などの事業を実施し、エリマネの活動実践の機会とした。</p>				
	活動	年間活動日は以下の通りである。				
	活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業形態
	定例会議	月に一度	河合塾	1～4	協議会全体	支援参加
	運営会議	月に一度	三条事務局など	3	協議会全体	支援参加
	景観まちづくり委員会幹事会・および地域景観づくり協議会意見交換会	基本的に月に2回	自治会館など	4	協議会全体	支援参加
	京都市地域景観まちづくりネットワーク定例会	2ヶ月に一度	景観まちづくりセンター	2	加盟 10 団体	参加
	京都歴史文化施設クラスター実行委員会	月に一度	京都文化博物館	2	協議会及び姉小路・文博	企画検討支援
	三条通エリマネ検討委員会	必要に応じ		3	協議会全体	支援参加

	活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業形態
	キックオフミーティング「ストリートカルチャーの創造」	7月4日	ウイングス 京都	9	参加者 47名 オンライン 2名	企画運営支援
	「官民連携まちなか再生」研究会	7月18日	ウイングス 京都	6	参加者 43名	企画運営支援
	まちカフェ 58 「まちづくり社会実験へ向けて」	9月25日	京都文化博物館	10	参加者 約40名	企画運営支援
	三条通まちづくり社会実験 2021「三条通で遊んでみよし」	11月6,7日	三条通界限	10	1000名以上	企画運営支援
	まちカフェ 59 「過去からの送りもの」	11月6日	ウイングス 京都	2	20名	企画運営支援
	近代建築 WEEK2021	11月14日～28日	三条通界限	2	約100名	企画運営支援
	まちカフェ 60 社会実験振り返りWS	12月4日	京都文化博物館	10	参加者 約40名	企画運営支援
	京都歴史文化施設クラスター実行委員会 活動報告会	2月13日	京都文化博物館	3	参加者 約15名	企画運営支援
	近代建築所有者・管理者懇話会準備会	2月18日	京都文化博物館	3	参加者 6名	企画運営支援
	まちカフェ 61「三条通にふさわしい道の使い方を他事例から学ぶ」	2月27日	京都文化博物館	3	参加者 約40名	企画運営支援
	三条通エリアマネジメント検討会議総会	3月13日	京都文化博物館	3	参加者 約40名	企画運営支援
成果	2021年度、公共空間である道について、各建物の前面空地を含めた利活用の在り方を検討する社会実験を行うことを通し、主体意識の向上を伴う組織形成につながった。近代洋風建築のリテラシー向上・利活用を目指す近代建築 WEEK では、所有者・管理者のネットワーク形成への端緒を開いた。行政・大学等、エリア内事業者の若手、近代建築所有者、市内文化施設等において、それぞれの有機的連携が始まった。					



■ 社会実験：YMCA 前こどもエリア



中央診療所前ライブラリー



文化博物館前：憩いスペース



車両通行止め区間、木のテント



車両通行止め区間外も歩行者中心に



振り返りWS



■ 近代建築 WEEK：メモグラツアー



オンラインシンポジウム

写真等



事業名	年度	2021 年度		
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ⑥ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動		
	プロジェクト名	祇園新橋プロジェクト		
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。		
	概要	祇園新橋景観づくり協議会の事前協議の運営、撮影マナー対策、白川南通りの遊歩道化、新橋通りの無電柱化等の取り組みについて、助言や支援を行う。		
	活動	年間活動日は以下の通りである。		
		活動内容	活動日時	活動場所
成果	<p>地域景観づくり協議会制度による事前協議を運用しつつ、施主、事業者との協議のノウハウを積み重ねている。</p> <p>また、撮影マナー対策、白川南通の遊歩道化や新橋通の無電柱化についての取り組みも並行して進めている。</p> <p>2021 年度から、メモリーグラフの共同研究の協力地域となった。古写真とこれにまつわるエピソードなどを集める作業を行い、アプリの景観まちづくりへの活用可能性について検証を行う。</p>			
写真等				

事業名	年度	2021 年度																		
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ⑦ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動																		
	プロジェクト名	藤城学区地域主体の生活交通支援プロジェクト																		
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。																		
	概要	<p>藤城学区における地域主体の生活交通支援事業の立ち上げの支援を行う。</p> <p>景観フォーラムでは、藤城学区のまちづくりビジョンの策定を支援し、2018 年 3 月にビジョンが策定された。主要課題の一つが買い物難民の増加で、JR 藤森駅前の商業施設誘致や地区内の交通利便性の向上を中期的課題とし、当座の取組として、乗り合いワゴンによる買い物支援の取組が実現した。</p> <p>【参照】景観フォーラム HP の記事 https://kyotokeikan.org/2019/11/12/1901/ この取り組みが京都市に評価され、2021 年度から始まった地域主体の生活交通支援事業の対象として検討することになった。</p>																		
	活動	<p>年間活動日は以下の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日時</th> <th>活動場所</th> <th>従事者の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同会議（地域、歩くまち、深草支所）</td> <td>9 月 13 日、以降 随時</td> <td>藤城学区</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域会合</td> <td>8 月 26 日 9 月 13 日 11 月 15 日 12 月 11 日</td> <td>藤城学区</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>歩くまち打ち合わせ</td> <td>10 月 5 日</td> <td>京都市</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	合同会議（地域、歩くまち、深草支所）	9 月 13 日、以降 随時	藤城学区	1	地域会合	8 月 26 日 9 月 13 日 11 月 15 日 12 月 11 日	藤城学区	1	歩くまち打ち合わせ	10 月 5 日	京都市	
	活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数																
合同会議（地域、歩くまち、深草支所）	9 月 13 日、以降 随時	藤城学区	1																	
地域会合	8 月 26 日 9 月 13 日 11 月 15 日 12 月 11 日	藤城学区	1																	
歩くまち打ち合わせ	10 月 5 日	京都市																		
成果	ワゴン車を提供してくれる歩くまち推進室の新規事業を活用することを検討したが、結果的に事業を活用するための条件をクリアする見通しが立たず、事業活用にいたらなかった。乗り合いワゴンの取組は継続し、少しずつ利用を拡大していくこととなった。																			
写真等																				

事業名	年度	2021 年度		
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ⑧ 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、地域サポート活動		
	プロジェクト名	笹屋町一丁目町プロジェクト		
事業内容	目的	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。		
	概要	笹屋町一丁目町内会は、長年にわたり町家を中心とした文化や伝統の継承や町内の親睦を深めてきた。しかし、近年、町家両隣の土地利用の変化を受け、町家の保存とまちなみの維持・発展を目指して町家運営委員会を発足させた。また、西陣らしい景観を保全・創造していく活動の一環として 2020 年 2 月に地域景観づくり協議会を設立した。2021 年度は引き続き、景観づくり計画書作成の支援を行う。		
	活動	年間活動日は以下の通りである。		
		活動内容	活動日時	活動場所
	協議会役員会への参加	不定期	上京区	1
成果	笹屋町一丁目町内会の各世帯を基盤としつつ、事業者や法人なども対象とした「笹屋町一丁目景観まちづくり協議会」を設立し、2020 年 2 月 14 日に京都市から認定された。2020 年度はコロナの影響により会議開催が不定期となり、活動が進まない状態の中、会員へ個別にヒアリングを実施した（合計 7 回、のべ 33 名）。2021 年度は、町家東隣の敷地事業者との協議の進捗状況を把握しながら計画書の作成を進め、2022 年 2 月 14 日に認定され、3 月 16 日に認定式が行われた。			
写真等				
	町家の前で集合写真（3月16日認定式）		景観づくり計画書（2月認定）	

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ① 景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業 うち、景観についての意識の啓発に関する事業 うち、シンポジウム			
	プロジェクト名	総会&活動報告会			
事業内容	目的	通常総会に合わせて年に 1 回活動報告会を実施する。また、必要に応じてテーマ型シンポジウムを、都度、開催する。			
	概要	1 年に 1 回、NPO の活動報告会を開催する。また、各プロジェクトの進捗にあわせて、テーマを設けたシンポジウムを開催する。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
		総会	5 月 16 日	ZOOM (事務所)	16
成果	コロナ禍のため、総会はオンライン会議システムを活用した。例年の活動報告会等のイベントは実施しなかった。				
写真等					

事業名	年度	2021 年度				
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ②地域景観資源の調査・研究 のうち、良好な景観の形成に関する調査研究事業				
	プロジェクト名	スマホアプリ『KYOTOメモリーグラフ』の実証評価				
事業内容	目的	「景観まちづくり」のベースとなる地域特有の歴史的・文化的な意義を、文献や聞き取りによって、明らかにする調査や研究を行い、景観に関する現状を調査、分析し、地域 の特性を明らかにして、望ましい将来像を提案する。また、景観的価値を地域や市民が 再認識して「景観まちづくり」を推進していくプロセスを研究し、それらの研究や地域 で展開しているプロジェクト事業を通して、「景観まちづくり」のノウハウを研究し構 築していく。				
	概要	同一構図の写真を撮影し、場所の記憶を時間的に積み重ねていくスマートフォンア プリを活用し、地域の人々が地域に眠る地域資源を自ら発見し、アーカイブして情報発信 する研究について、研究機関と共に地域へのアプローチを行う。				
	活動	年間活動日は以下の通りである。				
			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
			打ち合わせ	適宜 (秋以降、 月 2 回程度)	ZOOM 等	4
			三条近代建築 WEEK2021	11 月 27 日、 28 日	京都文化博物館	1
		地域学習教材に関する研究ヒア リング調査 (京の三条まちづくり協 議会)	2022 年 2 月 26 日	京都文化博物館 周辺	3	
	地域学習教材に関する研究ヒア リング調査 (鴨川運河会議)	3 月 3 日	京阪藤森駅周辺	3		
	地域学習教材に関する研究ヒア リング調査 (祇園新橋景観づくり協 議会)	3 月 8 日	東山区元吉町	3		

	<p>成果</p>	<p>2020 年度に続き、三条通りの近代建築を中心にまちなみの変遷をハンティングするラリーを一般向けに開催した。</p> <p>また、人文学オープンデータ共同利用センターの受託をうけ、メモグラアプリを活用することで、地域学習からまちづくりへの発展へとつなげるニーズの掘り起こしのため、祇園新橋、深草、三条通境界の3地区で地域まちづくり活動をしている方に実際にアプリを経験してもらい、ヒアリングをした。古写真と現在の風景の対比では、祇園新橋ではディティールの変化はあるが基本的な風情をそのまま残しており、三条では規模の大きな建築物はそのままであってもそのほかの建物が大きく入れ替わっているなど、地域による</p> <p>特に、祇園新橋については、古写真を集めつつ写真の持ち主から思い出を聞くことも計画しており、今後、地域で使える情報となることを期待している。</p>
<p>写真等</p>		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="252 741 740 1104">  </div> <div data-bbox="834 741 1323 1104">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="280 1115 687 1144"> <p>ヒアリング調査（鴨川運河会議）</p> </div> <div data-bbox="844 1115 1410 1144"> <p>ヒアリング調査（祇園新橋景観づくり協議会）</p> </div> </div>

事業名	年度	2021 年度																																					
	分類	定款第 5 条 ③景観まちづくりに関する教育事業 のうち、地域の景観まちづくりを支援する専門家の育成 のうち、京都景観エリアマネジメント講座																																					
	プロジェクト名	京都景観エリアマネジメント講座																																					
事業内容	目的	地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するために、専門的な知識を有する適切な人材を育成する。																																					
	概要	<p>本講座は、景観まちづくりに関わろうとするさまざまな分野の専門家を対象とし、1年目は景観まちづくりにおける基礎的な幅広い知識を得るための基礎講座（8か月・全8回）と、2年目は地域での支援やコーディネートなどより実践的なノウハウを学ぶ実践講座（8か月）で構成する。</p> <p>2020 年度（11 期）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開講を見合わせて、10 年間実施してきた内容を再検討して、2021 年度は新たな形でのスタートとなった。基礎講座の講師の大半を刷新し、観光など新たな分野講義を取り入れた。また新たにグループワークを組み込み、景観まちづくりの入門的な体験と交流を諮った。実践講座には、先輩エリマネや地域の方の、生の話を聴く機会を取り入れるなど、景観エリアマネージャーとしての役割をより具体化するよう設定した。</p>																																					
	活動	年間活動日は以下のとおりである。 <table border="1" data-bbox="327 1079 1430 1668"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日時</th> <th>活動場所</th> <th>従事者の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マネジメントチーム会議</td> <td>4 月 4 日</td> <td>事務所</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>講座運営会議</td> <td>4 月 11 日</td> <td>事務所</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>講座運営会議</td> <td>8 月 15 日</td> <td>Zoom</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>基礎講座運営会議</td> <td>適宜 月 1 回程度</td> <td>事務所、Zoom</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>実践講座運営会議</td> <td>適宜 月 1 回程度</td> <td>事務所、Zoom</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 講座内容は後述</p>			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	マネジメントチーム会議	4 月 4 日	事務所	5	講座運営会議	4 月 11 日	事務所	5	講座運営会議	8 月 15 日	Zoom	9	基礎講座運営会議	適宜 月 1 回程度	事務所、Zoom	9	実践講座運営会議	適宜 月 1 回程度	事務所、Zoom	5											
活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数																																				
マネジメントチーム会議	4 月 4 日	事務所	5																																				
講座運営会議	4 月 11 日	事務所	5																																				
講座運営会議	8 月 15 日	Zoom	9																																				
基礎講座運営会議	適宜 月 1 回程度	事務所、Zoom	9																																				
実践講座運営会議	適宜 月 1 回程度	事務所、Zoom	5																																				

成果	<p>第10期実践講座 2021年6月～2022年2月 受講者8名</p> <p>第12期基礎講座 2021年7月～2022年2月 受講者26名</p> <p>新型コロナ感染症の状況により、基礎第2回・第3回は休講とした。</p> <p>基礎の第2回「基礎理論（2）」は、本講座において重要な概論であるため、オンラインで特別講義として実施した。（修了要件のための出席とは認めない。）第3回とあわせて、休講の講義は次年度の受講を案内した。</p> <p>基礎の第2回実習科目は、12月に振替実施した。（修了要件のためには、ワークショップ1に出席かつ、ワークショップ2・3とフィールドワークを一連のものとし、各グループ担当者が判断する。）</p> <p>実践は、当初9月11日に予定していた第4回の内容を10月に振替実施した。</p> <p>※1期～12期までの基礎講座受講者数 281名（通年）</p> <p>※1期～10期までの実践講座受講者数 115名（通年）</p> <p>※京都景観エリアマネージャー登録者数 80名</p>
----	---



基礎第1回



基礎第2回（オンライン講義）



基礎振替日程



基礎フィールドワーク



実践第3回



実践個人レポート発表会

【基礎講座】

回	日程	科目	講師	内容	従事者数	参加人数
1	2021年 7月10日(土) 10:00~16:30	基礎理論(1)	堀 繁 氏	「景観」を学ぶ ～景観の良い悪いは、人 しだいだろうか?～	9	31
特別講義	8月21日(土) 10:00~16:30	基礎理論(2)	宗田 好史 氏	世界の歴史都市の景観政 策と京都の景観政策の成 果 (オンライン講義)	5	38
3	9月18日(土) 10:00~16:30	景観と都市形成	中島 節子 氏	近代の京都と景観	休講	休講
4	10月16日(土) 10:00~16:30	まちとまちなみ	森重 幸子 氏	京都のまちの成り立ち	9	28
			魚谷 繁礼 氏	建築とまちなみ	10	28
		ワークショップ2	まちのことを調べてみよう	9	22	
5	11月20日(土) 10:00~16:30	公共空間のデザイン	山口 敬太 氏	景観デザインと多主体協 同のまちづくり	10	28
		フィールドワーク		まちを見てみよう	5	19
6	12月11日(土) 13:00~18:30	京の生活文化	町田 香 氏	造園に込められた精神	5	25
			谷 晃 氏	和漢の境をまぎらかす	5	24
			笹岡 隆甫 氏	伝統文化から受け継ぐ美 意識	4	25
振替日程	12月18日(土) 10:00~16:30	ワークショップ3		地域の景観課題を見出し てみよう	9	18
		ワークショップ1		景観エリアマネージャー の役割を知ろう	11	16
7	2022年 1月22日(土) 10:00~17:00	自然資源と 観光資源の活用	深町 加津枝 氏	景観生態学	10	23
			阿部 大輔 氏	景観政策と観光	10	26
			村上 佳代 氏	文化財を活かした観光ま ちづくり	10	25
8	2月19日(土) 14:00~17:00	景観まちづくり	高田 光雄 氏	まちなかにおける景観形 成と 地域コミュニティ	15	24
		修了式				

【実践講座】

回	日程	科目	内容	従事者数	参加人数
1	2021年 6月26日(土) 10:30~17:00	オリエンテーション	実践講座カリキュラム 景観まちづくりの基本 実践フィールドの紹介とグループ分け	6	6
		グループワーク	地域の基礎資料の収集、課題の想定		
2	7月11日(日) 9:30~17:30	フィールドワーク	堀繁氏(東京大学名誉教授)「景観を理解する」 先生と一緒に実際のまちを歩いて、景観の理解の仕方を現地で学ぶ。	6	8
		グループワーク	現地調査、課題設定		
3	8月7日(土) 10:30~17:00	レクチャー	先輩エリマネの活動事例 梅野星歩氏(庭師、梅鉢園) 前田弘二氏(宿泊施設経営、立志社)	6	6
		グループワーク	課題解決のビジョンとプロセスの検討		
4	9月11日(土) 10:30~17:00		(コロナのため休講し、10月の午前に振替実施)		
5	10月9日(土) 10:30~17:00	レクチャー	地域のまちづくり事例 講師:長坂生人氏(桂坂景観まちづくり協議会事務局長) 永田一郎氏(祇園新橋景観づくり協議会代表)	7	8
		グループワーク	グループごとに検討した、地域への提案内容について発表しあい、これを題材に地域への支援の在り方等について考えた。		
6	11月13日(土) 13:30~17:30	個人レポート ゼミ1	個人レポートのテーマ案と構成案、この時点までの成果について、グループでゼミ形式の議論を行った。先輩エリマネも参加、相談にのった。	5	6
7	12月11日(土) 10:00~12:00	個人レポート ゼミ2	個人レポートの中間報告を、ゼミ形式で行います。先輩エリマネも参加、相談にのった。	5	5
	2022年 1月13日(木)	個人レポート 提出締切日			
8	2月19日(土) 10:00~12:30	個人レポート 発表会 修了式	個人レポートを、発表した。	16	16

事業名	年度	2021 年度
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ④ 地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） うち、受託業務
	プロジェクト名	受託業務
事業内容	目的	地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するため、行政や民間から業務を受託したり、専門的な知識を有する適切な人材を派遣する。
	概要	地域が、地域景観づくり協議会、地区計画の策定、建築計画や景観協定の締結など景観まちづくりに取り組む際に、適切な人材を派遣し支援する。また、京都の景観に関わる調査研究事業を受託し、団体の実績とする。

		業務名	契約日・委託期間	契約金額	発注者	人数
活動		京都市地域景観まちづくりネットワーク活動支援及び機運醸成のための景観まちづくりへのニーズの把握と、その情報共有・交流のあり方の検討業務	2021年4月8日から 2022年3月31日	860,000円 (税込)	京都市景観・まちづくりセンター	4
		建築協定等を活用したまちづくり支援における連絡協議会の事務局運営支援業務等	2021年4月2日 契約締結日から 2022年3月16日	5,156,000円 (税込)	京都市景観・まちづくりセンター	4
		公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターまちづくり活動支援要綱に基づくコーディネーター派遣業務（笹屋町一丁目町内会）	2021年4月20日 契約締結日から 2022年3月31日	650,000円 (税込)	京都市景観・まちづくりセンター	1
		東山区における人口減少に対する取組に関する調査業務	2021年12月14日 から 2022年3月31日	792,000円 (税込)	東山区役所	5
		歴史的建造物等への指定支援業務	2021年8月5日 から 2022年3月31日	300,000円 (税込)	古材文化の会	3
		みちとまちワークショップ講師派遣等業務	2021年7月3日 から 2022年2月28日	445,030円 (税込)	京都歴史文化施設 クラスター 実行委員会	3
		エリアプラットフォームの構築に係る検討会議の運営支援委託業務	2021年10月15日 から 2022年3月31日	900,000円 (税込)	三条通エリア マネジメント検討 会議	3
		近代建築ウィーク講師派遣	2021年10月29日 から 2022年2月28日	455,360円 (税込)	京都歴史文化施設 クラスター 実行委員会	1
		三条まちカフェの配信	2021年9月25日	100,000円 (税込)	京の三条まちづくり協 議会	
		メモリーグラフを用いた京都の町並み変化に関する地域学習教材に関する研究支援	2021年11月24日 から 2022年3月31日	660,000円 (税込)	国立 情報学研 究所	2
		祇園新橋撮影マナー対策支援	2021年4月1日 から 2022年3月31日	36,000円 (税込)	祇園新橋景 観づくり協 議会	1
成果	<p>地域組織のネットワーク活動支援のほか、京都市や景観・まちづくりセンター、区役所の受託で、今後の景観まちづくりのあり方の調査や検討の業務が目立った。</p> <p>古材文化の会との協働で京都市の受託を受けた。</p> <p>三条通の活発な活動のなかで、各団体から複数の受託業務があった。</p>					

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣）のうち、受託事業			
	プロジェクト名	機運醸成のための景観まちづくりへのニーズの把握と、その情報共有・交流のあり方の検討業務			
事業内容	目的	地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するため、行政や民間から業務を受託したり、専門的な知識を有する適切な人材を派遣する。			
	概要	京都景観ゼミナールの後継事業にあたる。今後の景観まちづくりのあり方が大きく変化していくであろうことを想定して、次代の担い手のあり方を検討するとともに、その新しい萌芽にあたる可能性がある事例に関する調査を行う。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数
打ち合わせ		4月8日 4月28日 5月12日 6月18日 7月12日 8月5日 10月14日 11月30日 2月2日 3月9日	京都市内	4	
ヒアリング	1月12日 1月21日 2月28日 3月 3月5日 3月6日 3月17日	宮本町 市民協働 六原学区 壬生淵田町 宮本町 宮本町 六原学区	4		
成果	3 地区を今回の調査対象とし、新たな担い手にあたる対象と、その周辺地域の自治組織や住民等の関係者にヒアリング調査を行い、その状況や、行政の支援の必要性などについて、取りまとめることとなった。				
写真等					

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） のうち、受託事業			
	プロジェクト名	令和 3 年度歴史的建造物等への指定支援業務			
事業内容	目的	京都市の歴史的風致形成建造物や景観重要建造物への指定提案を行うための、調査及び申請書作成を行う。			
	概要	所有者からの希望や京都市が対象とする社寺 7 ～ 10 か所について、歴史的風致形成建造物や景観重要建造物への指定提案をするための申請書の作成、及びこのために必要な調査を行う。 古材文化の会からの再委託の形をとっている。古材文化の会が社寺の建物調査、図面作成などを担当し、景観フォーラムが建物の歴史的価値や指定提案の理由等の作成を分担する。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数
		打ち合わせ（京都市・古材）		京都市	1
打ち合わせ（古材）			京都市	1	
現地調査	9 月 3 日 9 月 10 日 10 月 29 日 11 月 5 日 11 月 8 日 12 月 13 日 12 月 17 日	粟田神社 若一神社 松ヶ崎大黒天 鞍馬寺 涌泉寺 阿弥陀寺 住吉神社	2		
成果	景観重要建造物もしくは歴史的風致形成建造物の指定対象となる社寺の建造物について調査を行い、指定のための申請書類を作成した。 エリマネから 2 名が調査に参加した。				
写真等					

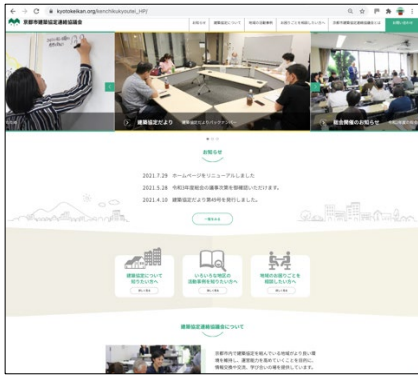
事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） のうち、受託事業			
	プロジェクト名	東山区における人口減少に対する取組に関する調査業務			
事業内容	目的	地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するため、行政や民間から業務を受託したり、専門的な知識を有する適切な人材を派遣する。			
	概要	第 3 期東山区基本計画「東山・まち・みらい計画 2025」に掲げる「住んでこそ！東山プロジェクト」推進の検討にかかるデータ収集及び資料作成			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
		打ち合わせ	12/8, 12/16, 12/23, 2/15, 3/17	東山区役所	4
統計データ収集・作成・まとめ	12 月～3 月	京都市内	6		
成果	東山区の人口減少の要因、人口誘致や転出防止に関する指定のデータを収集し、今後の区における検討に生かすとともに、区民会議などで市民にわかりやすく説明するための資料を作成した。				
写真等					

事業名	年度	2021 年度		
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） うち、地域ネットワーク活動支援事業		
	プロジェクト名	地域ホームページ支援		
事業内容	目的	地域がホームページ等を活用して、地域情報の共有や発信を行う取組について、技術的な支援や提案を行う地域ホームページ運営支援事業を推進する。また、地域景観づくり協議会をはじめ、景観まちづくりに取り組む地域のネットワーク形成や交流事業を支援する。		
	概要	景観まちづくりを行う地域や団体のホームページによる情報発信の作成および更新支援を行う。		
	活動	年間活動日は以下の通りである。		
		活動内容	活動日時	活動場所
成果	ホームページ更新	随時	事務所	2
写真等	修徳学区、桂坂学区、松ヶ崎学区、京都市建築協定連絡協議会、地域景観まちづくりネットワークの 5 団体について、引き続き更新支援を行った。			

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） うち、地域ネットワーク活動支援事業			
	プロジェクト名	京都市地域景観まちづくりネットワーク			
事業内容	目的	地域が地域情報の共有や発信を行う取組を支援する事業として、地域ホームページ運営支援事業を進める。また、地域景観づくり協議会をはじめとして、景観まちづくりに取り組む地域のネットワーク形成や交流事業を支援する。			
	概要	京都市内の地域景観づくり協議会の認定を受けた地区が、隔月で集まり各協議会相互の情報交流を行っており、事務局として支援する。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数
		定例会	奇数月第 1 木曜、計 6 回	まちセン	5
打ち合わせ		適宜年間 12 回	まちセン	1	
成果	2021 年度は、コロナ禍のため、5 月定例会、7 月定例会を休会とした。 2023 年度はネットワークのあり方について検討を進める予定である。また、協議会制度の改善に向けた議論を進めている。				

事業名	年度	2021 年度				
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） うち、地域ネットワーク活動支援事業				
	プロジェクト名	京都市建築協定連絡協議会				
事業内容	目的	地域が地域情報の共有や発信を行う取組を支援する事業として、地域ホームページ運営支援事業を進める。また、地域景観づくり協議会をはじめとして、景観まちづくりに取り組む地域のネットワーク形成や交流事業を支援する。				
	概要	京都市内の建築協定地区の継続的なまちづくりの支援、協定地区間相互の連携の強化、建築協定地区内外への建築協定の普及啓発など連絡会活動の充実及び将来的な自立化に向けた、支援を行う。				
	活動	年間活動日は以下の通りである。				
			活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
		役員会		4 月 12 日 5 月 10 日 10 月 13 日 12 月 22 日 3 月 14 日	まちセン	4
		役員会		7 月	(郵送)	3
		総会		6 月	(郵送)	4
		交流会事業		8 月 9 日	まちセン	2
		おむすびミーティング		12 月 5 日	長江家住宅	4
機関紙製作・発行			9 月、3 月	-	1	
打ち合わせ		毎週水曜日	フォーラム事務所	4		
成果	<p>総会は、コロナ禍の影響で郵送による文書決議を実施した。また、感染拡大の状況を受け、役員会もメールや Zoom を利用しながら実施した。</p> <p>まちの特性が似た地区、ご近所の地区、気の合うもの同士など、小規模の仲のよいグループをつくり交流を深められるようなネットワークを目指すため、小規模交流会を予定していた。実施は、連絡協議会の 30 周年を振り返りつつ今後の展望を語る会と、京都市長と役員で建築協定の価値を共有する「おむすびミーティング」の 2 回。</p> <p>年度末に、建築協定について説明する短い動画を制作し、HP など公開した。</p>					

写真等



連絡協議会ホームページ



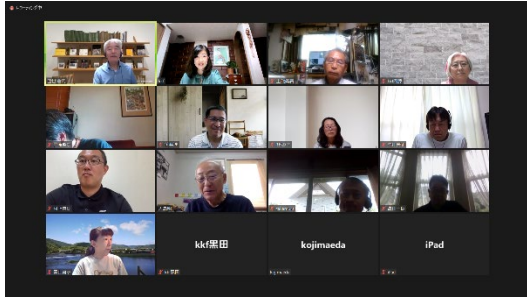
おむすびミーティング

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣） うち、相談業務			
	プロジェクト名	相談業務			
事業内容	目的	地域で抱える「景観まちづくり」についての課題や疑問について、さまざまな分野の専門家（京都景観エリアマネージャー）がネットワークを組んで、相談に応じる。			
	概要	京都景観エリアマネージャーを中心に、相談に応じた専門家を派遣した。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。 (審議会委員等委嘱)			
		活動内容	活動日時	委嘱者	従事者の 人数
		京都市美観風致審査会委員（広告 物専門小委員会含む）	7月28日 9月6日 9月22日 10月19日 12月15日 3月2日	京都市	1
		京都市持続可能なまちづくりを支 える税財源の在り方に関する検討 委員会	11月5日	京都市	1
	京都市公正職務執行審議会委員	9月10日	京都市	1	
	京都市市民参加推進フォーラム委 員	7月～3月 4回/年	京都市	1	

(専門家派遣)			
活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
京のまちづくり史連続講座講師	10月23日	京都市景観・まちづくりセンター	1
西柳町	7/5、7/7、8/4、 8/7、8/18、 9/16、9/30、 10/2、10/12、 11/1、12/18	上京区西柳町	2
久我御旅町		伏見区久我御旅町	1
祇園東	5/17、5/27、 6/23、7/5、 7/15、7/29、 8/11、12/8、 12/22	祇園東	2
壬生綾西町	4月16日 4月30日	中京区賀陽御所町	2
(地域等相談)			
活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
宮本町	8月1日	下京区宮本町	2
松ヶ崎		左京区松ヶ崎	2
筑波大学附属駒場高等学校生 視察対応	3月10日	事務所	4
成果	景観やまちづくりの分野を超え、意見やアドバイスを行う場が増えている。		

事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～⑦のうち、 ⑥景観まちづくり推進のための体制づくり うち、景観まちづくりを支援する専門家のネットワークづくり			
	プロジェクト名	エリマネ研究会			
事業内容	目的	エリマネの専門性を高めるための活動を行う。併せてエリマネとしての人材の共有、協働のネットワークづくりの礎とする。			
	概要	2021 度は、計画的に 3 回実施する予定であったが、コロナ感染症の様子を都度見ながら、オンラインとリアルを交えての開催となった。エリマネさんの各々の活動を知りたいというアンケートからの要望により、講師を 3 人にお願いした。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	参加者の人数
		オンライン勉強会「届けるためのセオリー伝授します」(村井氏)	9 月 12 日	ZOOM	21 名
		エリマネ活動紹介「立志社の取り組みと視察」(前田氏)	12 月 12 日	立志社現地と ZOOM のハイブリッド開催	18 人
	エリマネ活動紹介「祇園新橋の取組と視察」(森川氏)	2 月 23 日	まちセン	13 人	
	広報運営合同会議	月に一度	五条事務所		
成果	3 名の京都景観エリアマネージャーによる、それぞれの分野で活躍する仕事内容の紹介や、豊かな見識に裏付けされた実働による話から学ぶことが多く、エリマネのスキルアップにつながった。またエリマネ同志の交流も深める機会となった。				

「届けるためのセオリー伝授します」



「立志社の取組みと視察」

写真等



事業名	年度	2021 年度			
	分類	定款第 5 条①～②のうち、 ⑥景観まちづくり推進のための体制づくり			
	プロジェクト名	京都女子大学との連携			
事業内容	目的	地域の景観まちづくりを支援するには、京都景観エリアマネージャーだけでなく、他の専門家や行政、事業者といった多様な主体との連携が必要である。そのため、地域の景観まちづくりに貢献しようとする団体や人材を結びつける橋渡しの役割を担い、ネットワークによる支援の実現に広げていく。			
	概要	京都女子大学の地域連携講座、地域活動入門講座のゲスト講師として講義を行った。また、祇園新橋や七條大橋の活動に京都女子大学の学生に参加してもらった。			
	活動	年間活動日は以下の通りである。			
		活動内容	活動日時	活動場所	従事者の 人数
		地域連携講座	5 月 24 日	京都女子大学	1
連携活動入門講座	11 月 23 日	京都女子大学	1		
成果	学生への講義を行い、七條大橋や祇園新橋の清掃活動への学生の参加のほか、エリマネ講座の受講にもつながっている。				
写真等					

	年度	2021 年度
	分類	団体運営
内容	目的	各事業を適切に行うためのNPO運営を行う。
	活動	<p>■会議</p> <p>事務局</p> <p>総会 年1回(5月) 決算と計画など (コロナ禍のため、総会はオンライン会議システムを活用し実施し、正会員が参加した。)</p> <p>拡大マネジメントチーム会議 月1回 第1土曜日</p> <p>マネジメントチーム会議 週1回～月2回 木曜日午前 (内藤、森川、篁、黒田)</p> <p>広報チーム会議 月2回～月1回 (内藤、森川、村井、土谷、黒田)</p> <p>理事会 年3回(9月、3月、4月) 事業報告と会計報告など</p> <p>◆事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOきょうとグリーンファンド、NPOこどもセンターとシェア ・分担金 家賃22000円+光熱費他 ・きょうとグリーンファンドのひかり回線に増設してもらう方法で、固定電話とWi-Fiの回線を契約。 <p>◆会計・税務など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入(契約、助成金交付決定など)と支出(支払い、領収書)は、経費精算書で提出プロジェクト(地域サポート事業、受託事業等)担当ごとに管理することを基本とする。会計サイクルを、年間3回(8月後半、1月、4月)とする。 ・毎月10日まで講師料源泉納税、毎年12月源泉報告、毎年3月締めで5月ごろ事業税と法人税納税、消費税納税 ・マイナンバーは、講師謝礼が5万円以上で源泉引く支払いの方対象、鍵のかかる棚で管理

		<p>■会員</p> <p>正会員 20名 一般会員 90名 賛助会員 4団体 顧問 3名</p> <p>(参考) 地域サポート事業とNPOの関係</p> <p>主催 自主事業を実施する(エリマネ講座、景観サロン他)(責任主体)</p> <p>共催 地域団体と一緒に実施する(責任主体)</p> <p>成果 後援 地域団体主催の事業を応援する(責任主体ではない)</p> <p>協力 地域団体主催の事業に部分的に技術、労務を提供する</p> <p>協賛 地域団体主催の事業に資金、物資を提供する</p> <p>*各プロジェクトから相談、依頼があった後、マネジメントチームで決める。</p> <p>*地域サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトリーダー(改め、各プロジェクト担当)とは地域をサポートしている人 ・各プロジェクトリーダーの対象は、理事と京都景観エリアマネージャー(それ以外の方が対象となる場合は手続き必要) ・各プロジェクトリーダーの対象となるには、クレドへの同意(クレドの作成) ・各プロジェクトリーダーの対象となるかどうかは、マネジメントチームで決める
--	--	--